

伊豆東部火山群の火山活動解説資料（平成 23 年 3 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

2011 年 3 月 11 日に発生した「東北地方太平洋沖地震」以降、伊豆東部火山群周辺では地震が増加しましたが、その後、減少しています。
火山性微動の発生等、直接噴火活動に関連するような変化は認められておらず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 23 年 3 月 31 日に噴火警戒レベルの導入に伴い噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴煙など表面現象の状況（図 1）

伊東市に設置してある遠望カメラでは、噴煙などの表面現象は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 2※、図 3－①）

2011 年 3 月 11 日に発生した「東北地方太平洋沖地震」以降、大室山の北から北西及び東南東約 15 km 付近（図 2 震源分布図の破線囲い）を震源とする地震が増加しましたが、その後減少しています。今期間、震度 1 以上を観測する地震が 4 回発生し、最大の地震は 19 日 01 時 49 分に発生したマグニチュード¹⁾ 4.4 の地震で、東伊豆町奈良本で震度 3 を観測しました。
火山性微動は観測されませんでした。

1) マグニチュードは地震の規模を示します。資料中のマグニチュードは暫定値で、後日変更することがあります。

・地殻変動の状況（図 3－②③④）

GPS 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。

東伊豆奈良本に設置している体積ひずみ計²⁾による地殻変動観測では、火山活動によるとみられる変化は認められませんでした。

2) センサーで周囲の岩盤から受ける力による体積の変化をとらえ、岩石の伸びや縮みを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの注入等により変化が観測されることがあります。



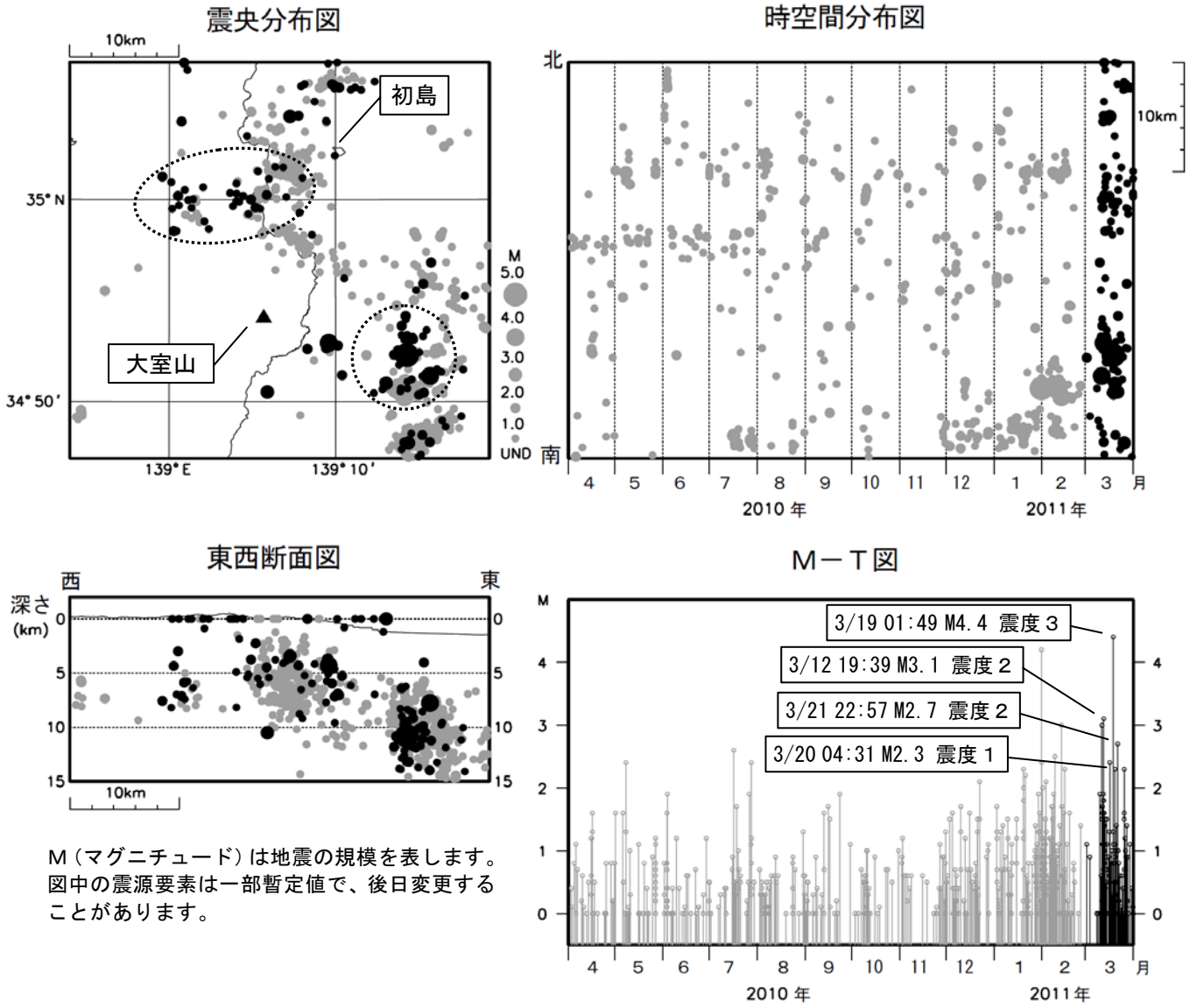
図 1 伊豆東部火山群 伊東市沖の状況

（左図：3月29日 大原遠望カメラ、右図：3月29日 大崎遠望カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 23 年 4 月分）は平成 23 年 5 月 10 日に発表する予定です。

※この記号の資料は気象庁のほか、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50 m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。



M (マグニチュード) は地震の規模を表します。図中の震源要素は一部暫定値で、後日変更することがあります。

● : 2010年4月1日~2011年2月28日 ● : 2011年3月1日~3月31日

図 2 ※ 伊豆東部火山群 震源分布図 (2010年4月1日~2011年3月31日)

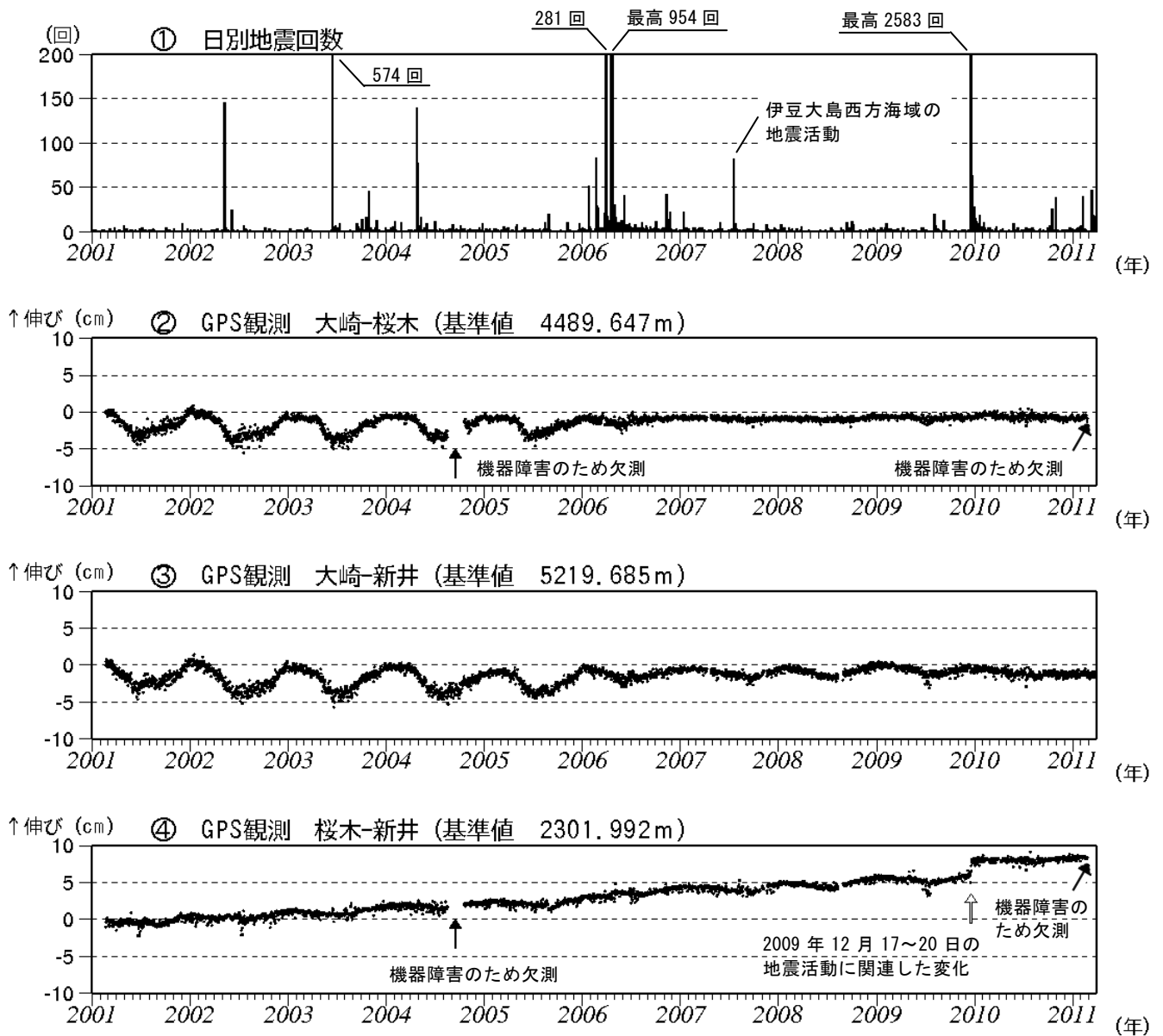


図3 伊豆東部火山群 最近の火山活動の推移 (2001年1月~2011年3月)

- ① 鎌田地震観測点による日別地震回数
 - ②~④ GPS連続観測による基線長変化 (観測開始は2001年3月)
- 基線長変化に見られる冬季の伸びと夏季の縮みの傾向は季節変動による変化です。
②~④は図4のGPS基線②~④に対応しています。

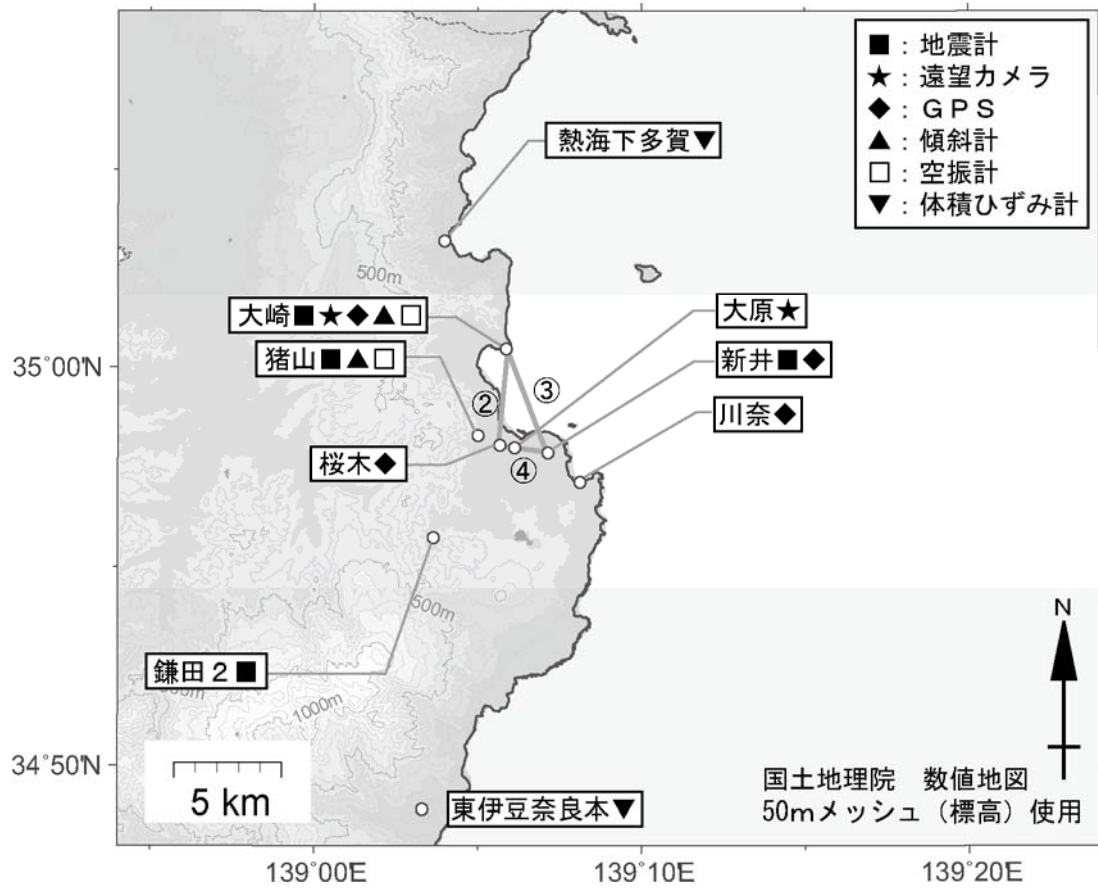


図 4 伊豆東部火山群 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）
図中の GPS 基線②～④は図 3 の②～④に対応しています。